

「勝海舟の会」史跡探訪「新吉原跡」のご案内

勝海舟の会
幹事会一同

皆様方には日頃より大変お世話になっております。
さて、今回の史跡探訪は吉原界限です。大勢の方のご参加をお待ちしております。

1・日時	2018年2月18日(日) 13時～17時雨天の場合も決行します。
2・集合場所	東武浅草駅正面前(1階) 13時 (銀座線7番出口上がったところ)
3. 散策コース	①待乳山聖天⇒②山谷堀公園⇒③今戸神社⇒④春慶院⇒⑤見返り柳・衣紋坂 ⇒⑥吉原大門・お歯黒どぶ跡⇒⑦吉原神社⇒⑧吉原弁財天⇒⑨一葉記念館⇒⑩浄閑寺(解散) (最寄駅 日比谷線 三ノ輪駅)

見どころ内容とスケジュール 元和3(1617)年、幕府の許可を得て庄司基右衛門が江戸市中に散在していた遊女屋を日本橋葺屋町(ふきやちょう)の東隣(現日本橋人形町周辺)に集めたことに始まる。この地には葦(よし)が生い茂っており、そこから「葦原」、転じて「吉原」と命名された。しかし次第に吉原が江戸の中心地になったため、明暦3(1655)年に現在地である千束村へ移転となった。以後、日本橋葺屋町付近にあった頃の吉原を「元吉原」、移転後の吉原を「新吉原」と呼ぶ。

新吉原とは・・

待乳山聖天		13:20～13:35	推古天皇3(595)年、この土地が突然小高く盛り上がり、金龍が舞い降りて山を護ったと伝えられている。『浅草名所七福神』の一つであり、毘沙門天をお祀りしている。また学問、芸能、立身出世の出世観音の後姿が見られ、これとても神秘的である。境内には二股大根と巾着をモチーフにした装飾が見られる。
山谷堀公園		13:40～13:50	江戸時代初期に掘られたらしい。北区音無川を源として、飛鳥山北側王子権現の下を経て、隅田川に通じていた。当時、この堀は吉原への通路の一つで、堀に沿って船宿や料理屋などが建ち並び、船での吉原行きは陸路よりも優雅で粋とされた。
今戸神社		13:55～14:05	康平6(1063)年、源頼義、義家父子が奥州の安倍一族を討伐に赴く際、鶴岡八幡宮と共に、勧請した古社。浅草七福神の福祿寿を祀る神社で、招き猫発祥の地と言われ、縁結びに御利益がある。今戸焼発祥の碑がある。また、当神社は新選組・沖田総司の終焉の地とも言われている。
春慶院 (高尾太夫墓)		14:30～14:40	三浦屋四郎左衛門方の抱え遊女で、世に万治高尾、あるいは仙台高尾と謳われ幾多の伝説を生んだ二代目高尾太夫の墓といわれています。墓には「寒風にもろくもくつる紅葉かな」の遺詠が刻まれており、仙台侯の内命によって建てられたと言われる。
見返り柳 衣紋坂		14:50～15:00	遊廓の入り口付近に生えた柳の名称。遊廓で遊んだ男が、帰り道に柳のあるあたりで、名残を惜しんで後ろを振り返ったことからこの名が付いた。吉原に入る客が大門をくぐる前に、このあたりで身なりを整え衣裳を直したところから、こう名付けられたという。
吉原大門 お歯黒どぶ跡		15:05～15:15	吉原への出入り口で、遊女たちの逃亡や犯罪者の出入りを未然に防ぎ、外の世界から隔絶するため、山谷堀沿い、日本堤側のみだった。吉原の周りにはお歯黒どぶと呼ばれる大溝があった。新吉原が誕生した初期は幅9m、江戸末期から明治初期は3.6m、明治36年には90cmの堀が巡らされていた。
吉原神社		15:30～15:45	かつて吉原遊郭に祀られていた五つの稲荷神社と遊郭に隣接する吉原弁財天を合祀した神社。五つとは玄徳(よしとく)稲荷社、明石(あかし)稲荷社、開運(かいうん)稲荷社、榎本(えのもと)稲荷社、九郎助(くろすけ)稲荷社の五社。倉稲魂命(うらのみたまのみこと)を御祭神としています。
吉原弁財天		15:50～16:05	昭和10(1935)年に吉原神社に合祀された吉原弁財天には、関東大震災にまつわる悲しい歴史がある。火災から逃がれようとした遊女達は、廊の中では逃げ場がなくこのため池に飛び込まざるを得ず490人が溺死したという悲劇が起こった。その後池はNTT吉原ビル建設時に埋め立てられた。大震災の慰霊のため、大正15(1926)年に建立された震災殉難慰霊の観音像なども祀られている。
一葉記念館		16:15～16:30	明治26(1893)年、一葉は新吉原にも近い下谷龍泉寺町に住んでいたが、このころの実体験で得た題材が「たけくらべ」はじめ作品へ繋がっていると考えられている。翌1894年には下谷から本郷区丸山福山町へ転居し、「暗夜」、「大つごもり」に続き「たけくらべ」を連載した。一葉は「裏紫」に至るまで作品を次々と発表しており、後に「奇蹟の14ヶ月」と評される期間にあたる。
浄閑寺		16:45～17:00	1655年に創建。同寺が投げ込み寺と呼ばれるようになったのは、1855年の安政の大地震で大量の遊女が死亡した際に、この寺に投げ込んで葬ったことによる。現在の塔は昭和4年に、寛政5(1793)年以前の供養塚を改修し、名も「新吉原総霊塔」とした。

懇親会 17:00～ 吉まぐれ屋(キマグレヤ) 東京都荒川区南千住1-16-8 03-6806-8436

<会費>

会員 5,000円 非会員 5,500円
(探訪のみ、会員 1,500円、非会員 2,000円)
(懇親会のみは、会員・非会員とも 3,500円)

・当日は歩きやすい服装でお越し下さい。
・連絡先: 瀬古 携帯 090-5536-1881
FAX 048-994-4357
メール seko@pricingjp.com